



参議院議員選挙

7月4日公示、7月21日投票 社民党全国比例区300万票3議席獲得で 平和憲法を次代の子どもたちにつなごう

私たちの生活、働き方の実態は待ったなしだ

安倍政権の「異次元の金融緩和」で円安・株高がすすみ、マスコミでは高額商品が売れていると「アベノミクス」をもてはやしている。しかし、実体経済はどうだろう。大企業は大幅な増益を発表したが、GDPの60%を占める家計は改善(賃金アップ)どころではない。最近では10年後の所得150万円増を打ち上げたが企業所得を含めたもので、働く者にどれだけ実感を持って受け入れられるか。

「やむを得ない」の今

事実は、およそかけ離れた状況が続いている。「プラック企業・追い出し部屋」なる新語が横行、規制緩和の行き着く先が働く者の実態にどう表れているかは明らかだ。最低賃金1000円以上に

「時事問題懇話会」6月10日熱討論から

6月例会は6名参加「改憲の動きと参院選」で討論、背景や課題について理解を深めた。★勤労国民の生活状態の悪化が「何でもいから変えてほしい」という気分がマグマのように溜まり、政治意識が右傾化している。周りで何が起きているか、もっと周りに目を向け、一緒に考え、交流できるときが組合でも減っている。

参院選勝利・岡山県決起集会

7月6日(土)10:00~
岡山市勤労者福祉センター
弁士 金子哲夫
選挙カーが7月4(木)~7(日)県内を回ります

党県連合は、参院選岡山選挙区で高井たかし氏(無所属)と政策協定、推せん

以下の政策の実現が喫緊の課題であるとの共通認識に立ち選挙協力を行うことで合意した。

参院選岡山選挙区における政策協定書(抜粋)

- 1、憲法改正を阻止し、憲法を活かします
- 2、「家計を温める」経済対策の実現
- 3、人間らしい雇用を立て直します
- 4、脱原発社会の実現に向けていきます
- 5、TPP参加ではなく、アジア諸国との経済連携を図る

2013年6月26日

社民党岡山県連合 代表 福島捷美
参院選岡山選挙区予定候補者 高井たかし

隠された憲法改悪のシナリオ

6年前の安倍政権は1年の短命だったが、①国民投票法 ②防衛庁から防衛省に格上げ ③愛国教育の教育基本法改悪

☆在特会なるものが基地削減を訴える沖繩の人のテーマに差別的暴言を浴びせる。次第に威圧感を感じるとき、右傾化は本当にやってくる。

★「150万円所得アップ」その気になった人がいた。内実は殆ど企業内にたまるだけ。年金者、非正規の恩恵は力ヤの外で、振込サギと同じだ。☆「行き着くところまで行けば分かる」のは危機待望論でそれらを許す運動しかできていないことを本気で考えよう。

円アップはこの話である。マスコミの無批判な政府発表の垂れ流しは、社会の信頼を蝕むことに拍車をかけている。

の、いずれも改憲につながる3法を成立させている。今回は、当初96条の改憲発議を2分の1に下げる先行改憲に執念を見せていたがトーンを下げていく。露骨な改憲の主張にさすがに国民の「黄信号」が出たからだ。

今回、参院の「ねじれ」解消が実現すれば、改憲は「いつでも思いのまま」となる。現憲法の「平和・基本的人権・民主権」の3原則を否定する自民案はそこにあるからだ。



6・29岡山空襲写真展・天満屋~7/1



院選の暑(熱)い戦いが始まる。最大の争点される改憲問題に、どのような有権者の判断が下されるか▼「寝てもらっている方がいい」と、投票しないよう話した首相がいたがこの間の政治不信は投票率の低下に表れ、「民主主義的な専制政治」で、かつての政治と同じ状況だと危惧する声がある▼安倍政権の改憲のやり方を「裏口入学」と批判しても、投票結果によつては「すべては有権者の判断」として裏口から入つて正門から出ていけば、正当性を与えることになる▼アキラメや無関心がときの為政者に手を貸すのと同じように「何もしない」のも、また同じである。今日を築いてきた自負を、いま一度次代に平和憲法を引き継ぐために呼びおこそう。(の)

当面する諸活動

- 原原爆被爆者慰霊祭 7月1日 参院選公示 7月4日
- 参院選勝利決起集会 7月6日
- 参院選投票日 7月21日
- 反核・平和 原水禁行進 7月13日 岡山、妹尾
- 7月27日笠岡、大門

「新報」読者会

7月9日(第2火) 18時

弓之町「時事問題懇話会」

7月19日(第3金) 18時
※いずれも党県連合会議室